

習志野市教育委員会会議録
(令和3年第1回臨時会)

- 1 期 日 令和3年8月4日(水)
市庁舎3階大会議室
開会時刻 午後1時30分
閉会時刻 午後1時47分
- 2 出席委員 教 育 長 小 熊 隆
委 員 古 本 敬 明
委 員 赤 澤 智 津 子
委 員 高 橋 浩 之
委 員 馬 場 祐 美
- 3 出席職員 学校教育部長 遠 藤 良 宣
学校教育部次長 野 村 健 一
教育総務課長 中 野 充
指導課長 本 間 美 奈 子

4 議題

第1 議決事項

議案第24号 令和4年度使用教科用図書の採択について
(中学校の「社会科(歴史的分野)」の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)

第2 その他

5 会議内容

小熊教育長が
令和3年習志野市教育委員会第1回臨時会の開会を宣言

小熊教育長が
本会議の審議を傍聴したい旨の申し出が7名からあり、希望者について受け入れること、また、今後の傍聴の申し出について、受け入れが可能な範囲で受け入れることについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

**議案第24号 令和4年度使用教科用図書の採択について
(中学校の「社会科(歴史的分野)」の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書) (指導課)**

本間指導課長

議案第24号「令和4年度使用教科用図書の採択について(中学校の「社会科(歴史的分野)」の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)」、説明する。

本議案は、令和4年度使用中学校の社会科(歴史的分野)教科用図書及び特別支援学級使用の一般図書(附則第9条第1項の規定による教科用図書)の採択について、御審議をお願いするものである。

なお、中学校の社会科(歴史的分野)の教科用図書及び特別支援学級の一般図書については、事前に教育委員の皆様には閲覧していただいているが、今一度、御覧いただく時間を設けたいと思う、と説明

小熊教育長

中学校の社会科(歴史的分野)の教科用図書及び特別支援学級の一般図書について、閲覧の時間を設けることとする、と発言

本間指導課長

スライド資料1ページ目下段の表は、学習指導要領改訂のスケジュールである。小学校は令和2年度に新学習指導要領が全面実施となることから令和元年度に採択し、令和2年度より新しい教科書の使用を開始、中学校は令和3年度に新学習指導要領が全面実施となることから令和2年度に採択し、令和3年度より新しい教科書の使用を開始している。特別支援学級で使用される一般図書は毎年採択を行うことから、本年度は特別支援学級で使用される一般図書のみ採択が行われる予定だった。しかしながら、中学校社会科(歴史的分野)において新たに文部科学省の

検定に合格した教科書があったことから、調査研究をしたものである。

調査研究の観点について、中学校で使用する社会科(歴史的分野)の教科用図書については、「新しい学習指導要領への対応」、「内容」、「造本」の3つの観点、特別支援学級において使用する一般図書については、「内容」、「組織・配列」、「表現」、「造本」の4つの観点で調査研究を行った。これらの教科用図書の選定にあたっては、教科用図書葛南東部採択地区協議会において、公平且つ公正に選定した。

種目ごとにそれぞれの教科書の特色と選定した教科書、選定理由について説明する。スライド資料3ページ目下段を御覧いただきたい。令和4年度に中学校で使用する社会科(歴史的分野)について説明する。左の写真が昨年度採択し、今年度使用している教科書、右の写真が新たに調査研究の対象となった教科書である。

初めに、現在使用している教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」について、説明する。本文で「学習課題」を解決するために、「読み解こう」、「確認」、「表現」の活動を通して、言語能力、情報処理能力、問題解決能力等を育むよう工夫されている点、歴史的事象を系統的に配列し、各章の「学習のまとめと表現」では、図表や地図の読み取りをもとに思考力や表現力を養うための発展的な学びがしやすい点により昨年度採択されている。

次に、昨年度再申請により検定に合格した自由社「新しい歴史教科書」について、説明する。各章の最後に「調べ学習のページ」、「復習問題のページ」が配置され、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育む活動の参考となるよう構成されている。また、基礎・基本の定着をもとにして、思考力・判断力・表現力を育成しようとしている。

最後に、特別支援学級で使用する一般図書について、説明する。特別支援学級で使用する一般図書については、児童生徒の障がいの種類や程度に合わせて採択された教科書の中から個々の児童生徒に合った教科用図書を選択する。今年度は、現在採択されている133冊に加えて3冊を新たに追加することについて協議した。3冊の教科用図書の特徴について、順を追って説明する。「漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク2 あわせ漢字あそび」は、基本の漢字を組み合わせて、段階を追って学習を積み重ねることができるような内容になっている。また、意欲を高める工夫がされており、継続して使用することが可能である。配列は、漢字の成り立ちから漢字の知識が身につくように考えられている。「音のでる知育絵本15 こえでおぼえるごあいさつえほん」は、日常生活に必要な基本的な挨拶が取り上げられている。視覚・聴覚の両方から学ぶことができ、興味関心が高まる内容となっている。また、児童生徒の生活体験と関連しやすい構成になっており、遊びながら言葉を覚えられるよう工夫されている。「CD付英語カードあいさつと話しことば編」は、親しみやすいイラストで身近な英会話が表現されている。表現豊かなCDを聞くことでさらに英会話を楽しむ意欲に繋がる。カード形式にもなっているため、かるたなど複数名でやり取りしながら学習することもできる。

以上を踏まえ、令和4年度使用教科用図書は、中学校社会(歴史的分野)において言語能力、情報処理能力、問題解決能力等を育むよう工夫されている点、図表や地図の読み取りをもとに思考力や表現力を養うための発展的な学びがしやすい点から、現在使用中である教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」を選定した。特別支援教育については、「内容」、「組織・配列」、「表現」、「造本」とも適切であると判断し、3冊全てを選定した、と概要を説明

各委員が、各教科書を閲覧

古本委員

現在教育出版の教科書が使用されているが、今回新しく自由社の教科書が選定された場合、現在使われている歴史の教科書はどうなるのか、と質問

本間指導課長

昨年度採択し今年度使用している教科書については、新中学校2年生がそのまま使用する。新しく採択された教科書については、新中学校1年生が使用する。中学校の中でそれぞれの学年が違う教科書を使うことになる、と回答

小熊教育長

特別支援学級の教科書については、具体的に児童生徒がどのような形で手にするのか、補足して説明していただきたい、と発言

本間指導課長

特別支援学級については、個人の障がいの支援の仕方に合わせて教科書を選ぶこととしている。特別支援学級の中には、通常学級で使用している国語の教科書を使う子どももいる。漢字を中心に学ぶ場合、通常学級で使用している国語の教科書に代わり、一般図書を国語の教科書として使用することとしている。他の教科についても同様である、と回答

小熊教育長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第24号は全員賛成で原案どおり可決された。

小熊教育長が

令和3年習志野市教育委員会第1回臨時会の閉会を宣言